



なかがめ
仲亀
(無会派)

きょうへい
恭平



**富士宮市が世界第4位の快挙！
観光客がストレスなく、快適に観光を満喫
できる環境整備に向けた取組について**

問 富士宮市お勧めのお土産について。

部長 「それ、みやげにして宮！名物コンペ」が開催され、毎年趣向を凝らした魅力ある商品が賞に選出されている。また、昔から市民に愛され続けている商品などもたくさんあり、こうした商品が富士宮市を代表するお土産と言える。



問 観光案内所、トイレ休憩、観光レクリエーション施設、お土産屋、グルメスポット、公園の併設など、地域を活性化するための施設の位置づけとしての道の駅を提案する。

部長 道の駅の設置は難しい。今、富士宮市が目指しているものについては、多くの観光客が訪れる宿泊施設を優先したい。

問 観光案内所としての機能を有する施設は。

部長 JR富士宮駅に隣接する「富士宮市観光協会」。富士山本宮浅間大社駐車場の「寄って宮」。また、「白糸の滝観光案内所」があり、土日祝日限定ではあるが、スタッフが待機して観光客の問合せや案内などの対応に当たっている。

富士宮市役所施設の「シェアリングエコノミー」活用の可能性と展望について

問 会議室、交流スペース、市民ホール等の業務に支障のない範囲での貸出しを提案する。

部長 災害時の防災対策の観点からも、一般の方々の土日及び時間外での貸出しはリスクが生じる。庁舎管理者として安全の確保が第一優先。

問 市役所駐車場を一部開放し、キッチンカー等の出店者を募集することについて。

部長 キッチンカーの設置はイベント時の実施としての対応ができるものと考えている。



あしざわ
芦澤
(明和)

ひでのり
秀典



ライフラインの確保について

問 飲料水の確保についてはどうなっているのか。

部長 防災倉庫に2ℓの飲料水を6000本用意している。また、市民に対して家庭内の備蓄品として、1人1日3ℓを基本に7日以上上の備蓄を呼びかけている。災害により市内の広域で断水が発生した場合は、市民に応急給水活動を開始する。一般給水拠点となっている小中学校や高等学校の校庭など、市内延べ46か所に配備されている災害用給水タンクに給水して、市民への個別給水を行う。

富士急白糸滝レストセンター跡地について

問 富士宮市としては、この跡地の今後についてどう考えているのか。

部長 当該土地については、所有者の御理解の

もと、土地の一部を使用している状況であり、まずは所有者の意向が優先されるものと考えている。所有者からは、市に譲渡する意思はないとの回答をいただいているが、当該場所が白糸ノ滝の保存管理上、重要な位置づけにある土地との認識が変わりはないことから、これまで同様、所有者の意向を尊重した上で、必要に応じて協力を求めていく。

市長 市としては、売ってくれるなら、買いたいと思っている。

ヤングケアラーについて

問 ヤングケアラーである、こどもが在籍している学校での取組はあるのか。

教育長 学校がヤングケアラーである児童生徒を把握した場合には、丁寧な聞き取りを行い、担任だけでなく、学校が組織的に対応し、該当児童生徒の支援に努めている。さらに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携を図ったり、市の家庭児童相談室とも連携を図りながら、継続的に対応している。